

## NEWS RELEASE

日本板硝子株式会社  
2020年2月27日

### 水素エネルギーによるガラス製造、世界初の実証実験へ

日本板硝子株式会社（東京都港区、代表執行役兼 CEO 森 重樹、以下 NSG）は本日、水素エネルギーを利用したガラス製造の実証実験を行うことを発表しました。これは、世界初の試みであり、英国北部にあるグリーンゲート工場で 2020 年 11 月に開始します。

この実験はガラス溶解窯の主燃料である天然ガスと重油の代替エネルギーとして水素を利用するもので、転換可能な水素の比率を調査します。仮に天然ガスをすべて水素に転換できれば、二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）を 80%削減することが可能です。

この実験は、CO<sub>2</sub>削減に取り組む共同事業体 HyNet<sup>\*1</sup>のプロジェクトの一環として、英国政府が推進する工業燃料転換計画から 520 万ポンド（約 7.5 億円）の資金補助を受け、実施します。

NSG は、2030 年の CO<sub>2</sub> 排出量（Scope1 および Scope2<sup>\*2</sup>）を 2018 年対比で 21%削減を目標としています<sup>\*3</sup>。過去 3 年間の取組においては、エネルギー使用量と CO<sub>2</sub> 排出量の削減により、単位生産量当たりの CO<sub>2</sub> 排出量 5%削減を達成しました。

NSG はエネルギー効率向上に貢献する高付加価値ガラス製品の製造と、事業活動による CO<sub>2</sub> 排出量の削減の努力を重ね、気候変動リスクの影響緩和にむけた取り組みを続けてまいります。

\* 1 HyNet：イングランド北西部における産業、一般家庭および交通機関から排出される CO<sub>2</sub> 削減に取り組む共同事業体。33,000 の雇用創出、40 億ポンド相当の投資および 1 億トンの CO<sub>2</sub> 削減を目指す North West Energy & Hydrogen Cluster [www.northwestcluster.co.uk](http://www.northwestcluster.co.uk) のメンバー。  
<https://hynet.co.uk/>

\* 2 Scope1：事業者からの直接排出（製造工程における燃料の使用等）  
Scope2：エネルギー起源の間接排出（製造工程における購入電力など）

\* 3 SBT イニシアティブ認定の削減目標（2019 年 10 月 9 日発行ニュースリリース「[日本板硝子の温室効果ガス削減目標が SBT イニシアティブの認定取得](#)」参照）

**日本板硝子株式会社（NSG グループ）** は、建築用・自動車用ガラスおよび高機能ガラス製品の分野における主要メーカーです。1918 年に創業し、グループ従業員数は約 27,000 人。世界各地に主要な製造拠点をもち、100 カ国以上で製品の販売を行っています。<http://www.nsg.co.jp>

<お問い合わせ>  
広報部：03-5443-9477